

ISSN 2435-0532

尚絅子育て研究センター

# 児やらい

*koyarai vol.16 2019*

Child-rearing to generate mutual recognition  
Child Studies Center at Shokei

第16巻 2019年



## はじめに

「かえるくん」と「がまくん」のお話で有名なアーノルド・ローベル作・三木卓訳『ふたりはともだち』（文化出版局、1972年）という児童書の一節に「おてがみ」という物語があります。「ぼく　おてがみをもらったことないんだもの。」と、毎日郵便ポストをのぞいてみては悲しそうにしているがまくんのことを思い、かえるくんは「しんあいなる　がまくんへ」とおてがみを書き、知り合いのかたつむりくんに届けてもらえるように頼みます。かたつむりですから、とてもゆっくりゆっくり歩むので、がまくんの家にはなかなかおてがみは届きません。長いこと待って、4日後にそのおてがみは届きました。その間、かえるくんとがまくんはおてがみが届くのを「ふたりとも　とてもしあわせなきもち」で待っていたのです。

このような内容の物語を、随分前に、ある方が大人に向けて読み語ってくれました。そして、読み終わった後に、「今は、こんなにゆっくりは待っていられる学校教育ではないんです。教師も本当は、もっと子どもを待ってあげたいのですが、そうはいかない現状があるのです」と話してくれました。子どもの育ちのスピードは、本来その子自身の中にあるのですが、学校教育になると、ある一定程度のスピードに子どもが合わせていかなければなりません。本当は自ら育つことを信じて待ちたいけれど、待つ時間をかけることができない。先生たちもきっと限られた条件の中で最大限の努力をしながら、子ども一人ひとりの育ちを見つめているのだと思います。

では、幼児教育の場ではどうでしょうか？子どもが自ら育とうとしている姿を待つことができているでしょうか？大人は、「はやく！」とは言いますが、子どもの「まって！」には、どれだけ応えられているのでしょうか（これは自戒の念を込めて）。子どもにとって、どこかでは、やはり自分のスピードで自ら満足するぐらい何かに打ち込んだり、達成する時間が必要な気がします。そして、かえるくんのようにその子の願いに寄り添いながら、一緒にその時間を楽しみに待てることが、子どもにとってどんなに大きな育ちにつながることでしょう！0歳から6歳までの保育・教育の場では、そのような「待つ」ゆとりが必要です。

「保育士不足」が深刻化している今日、なかなか職場に「ゆとり」を見出すことは至難の技となっています。そのことを承知の上で、今この時だからこそ、私たちの実践をもう一度、振り返り意味づけしていく必要があるように思います。その時に、子どもたちにとって何を大事に保育・教育していくべきなのか。その手がかりの一つとして、『児やらい』第16巻もぜひ参考にしていただきたいと思います。私たち尚絅子育て研究センターの研究員は、保育・教育・児童福祉など、各分野の保育者の皆さんとともに、これからも研究や教育に取り組んでいきたいと考えています。奇譚ないご意見をいただけたら幸いです。

2019年7月

尚絅子育て研究センター長

増淵 千保美

# 目 次

## はじめに

### I 論文

|  |                         |
|--|-------------------------|
| 1 音を共に出すこととしての「共奏」の諸相<br>-合奏を越えて-                        | 3                       |
|  | 曾田 裕司                   |
| 2 「主体的・対話的で深い学び」の研究<br>-アクティブラーニングの視点から-                 | 13                      |
|  | 生野 金三・生野 桂子             |
| 3 領域「言葉」の研究<br>-指導法のあり様を志向して-                            | 25                      |
|  | 生野 金三・香田 健治・生野 桂子       |
| 4 嘉納治五郎の教育理念の今日的な意義とその課題<br>-教育者としての嘉納治五郎に着目して-          | 41                      |
|  | 田中 將之                   |
| 5 子どもの絵画認知と発達的变化   | 49                      |
|  | 栗川 直子                   |
| 6 身体運動に着目した子ども理解に関する試論                                   | 59                      |
|  | 佐藤 亮平                   |
| 7 スカイプを用いた小学校音楽科授業における国際交流<br>-日本と中国の小学校の交流-             | 73                      |
|  | 森 みゆき・山崎 浩隆・佐土原 智彰・岩下 学 |
| 8 前言語期における乳児の発達過程とその支援について<br>-健常児、知的障害児、聴覚障害児について-      | 95                      |
|  | 安村 由希子                  |
| 9 知的障害と肢体不自由のある幼児への臨床動作法を通した教育相談<br>-自立活動6区分の視点からの効果の検討- | 107                     |
|  | 本吉 菜つみ                  |
| 10 保育における職場環境に関する研究<br>-早期離職予防及び新任育成の視点から-               | 121                     |
|  | 増淵 千保美・横山 博之            |

### II 公開シンポジウム講演録

|   |                            |
|---|----------------------------|
| 1 子どもの心の育ちを読み取るエピソード記述<br>-真の保育の評価とは何か-   | 141                        |
|   | 鯨岡 峻（京都大学名誉教授）             |
| 2 「Uちゃんの笑顔が見たい」                           | 162                        |
|   | あゆみ保育園 保育士 佐藤 章子           |
| 3 「みんなでつかまえたんだよ」<br>～ツマグロヒヨウモンチョウが蝶になるまで～ | 164                        |
|   | 尚絅大学短期大学部附属こども園 保育教諭 亀山 柚果 |

### III 事業報告

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| 1 平成30年度 尚絅子育て研究センターの取り組み       | 169 |
| 2 COC+「安心して働きながら子育てできる熊本プロジェクト」 | 172 |
| 3 平成30年度「乳児保育研究会」報告             | 175 |

### IV 尚絅子育て研究センター事業計画

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 1 尚絅子育て研究センター事業計画 | 201 |
| 2 尚絅子育て研究センター事業紹介 | 202 |

|      |     |
|------|-----|
| 投稿規程 | 203 |
|------|-----|

|      |     |
|------|-----|
| 編集後記 | 204 |
|------|-----|